

# 千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の概要

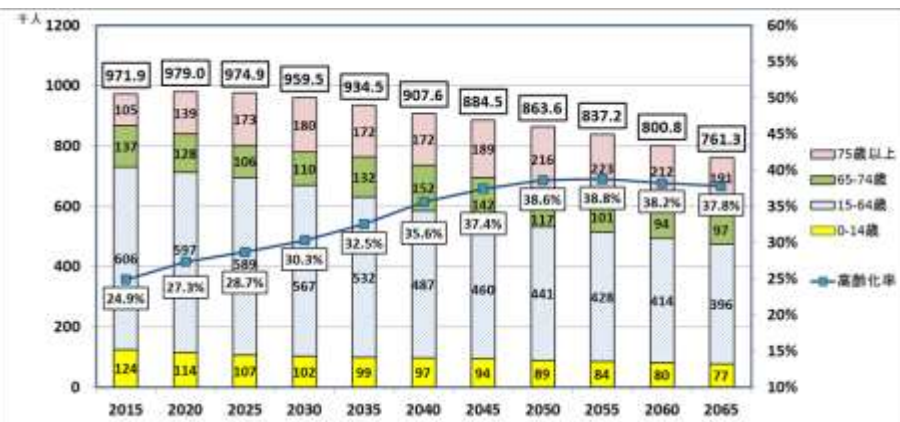
## 千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンとは・・・

まち・ひと・しごと創生法の目的及び理念に基づき、本市の置かれた状況や将来展望を積極的に発信するとともに、人口減少の克服と地域の活性化に取り組み、千葉市独自の「地方創生」を実現するため、2016年3月に策定、2018年12月に改訂。

### 人口ビジョン

2065年までを推計と分析の対象期間とし、将来展望を描く。

### 千葉市の将来推計人口（2018年3月推計）



### 目指すべき人口の将来展望～ちばシナリオ～

人口減少・少子超高齢社会に果敢に挑戦し、「交流」と「共創」による自立した圏域を創り出す～「ちば」共創都市圏の確立を目指して～

### 総合戦略

2015年から2021年度改訂までの間を計画期間とする。

### 総合戦略を貫く、「都市経営の3方針」

#### 都市経営の3方針

- I 自立した“ちば”共創都市圏を支え、活力の中心となる都市へ
- II 産業と経済、地域社会の活性化を推し進め、魅力あふれる都市へ
- III 誰もが活躍できるしなやかで持続可能な成熟都市へ

### ちばシナリオを実現する、「7つの重点戦略」

#### 7つの重点戦略

- 1 自立した“ちば”共創都市圏で、わたしたちが果たす役割の追求
- 2 都市の活力を支える産業の振興と人材の育成
- 3 出産・子育ての希望をかなえ、若い魅力にあふれたまちづくり
- 4 高齢者が心豊かに暮らせるまちづくり
- 5 都市資源を活用し、ひととひととがつながる安全・安心なまちづくり
- 6 千葉市を知り、そして好きになる仕組みづくり
- 7 未来へと引き継がれる「オリンピック・パラリンピック・レガシー」の発展

## 計画期間

2022年度末まで  
(2023年度以降は、次期基本計画・実施計画に統合)



- 改訂に当たっては、現行をベースに社会変化等を反映するとともに、次期基本計画・実施計画統合への円滑な接続を図る。

## 人口ビジョン

- 各種統計データの更新、分析内容の修正  
転入・転出の状況、千葉商圏の状況など
- コロナの拡大、災害リスクの増大を課題として位置づけ

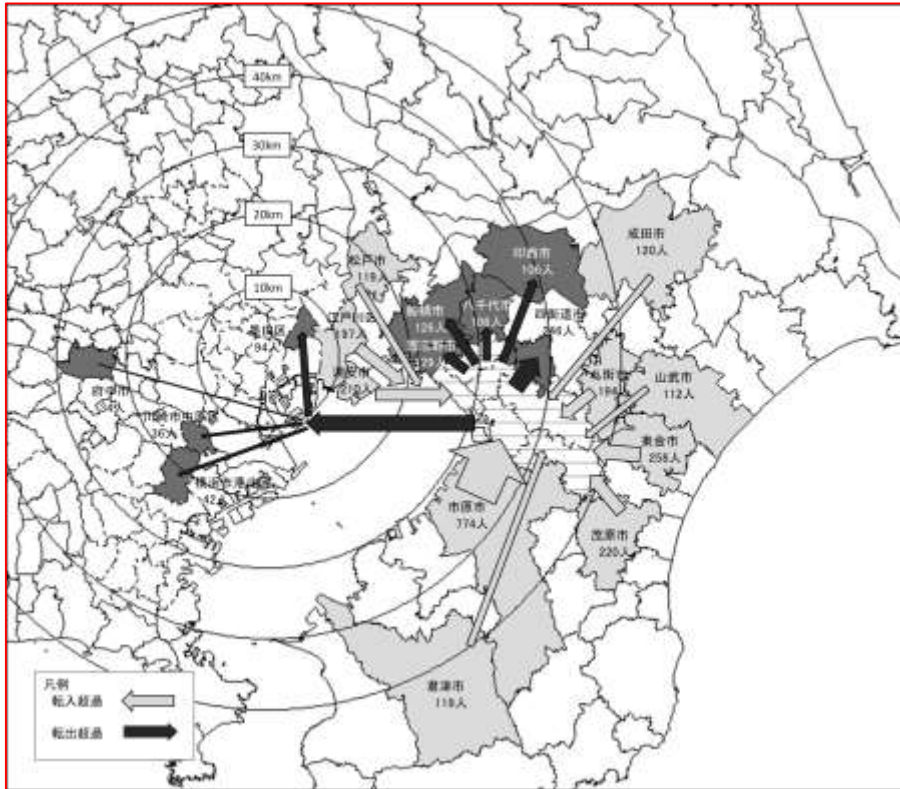
## 総合戦略

- 国の第2期総合戦略の反映  
市総合戦略を貫く「都市経営の3方針」に、国戦略の横断的な目標の視点を反映
  - 地域におけるSociety5.0の推進
  - 地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり
  - 多様な人々の活躍による地方創生の推進
  - 誰もが活躍する地域社会の推進
- 地方制度調査会答申の反映  
地域の枠を超えた連携の重要性、コロナ感染拡大に伴う変化への対応
  - 地方行政のデジタル化
  - 公共私連携と地方行政団体の広域連携
- 感染症、災害リスクへの対応を追記
- オリンピック・パラリンピック・レガシーの継承に関する表現を見直し
- 計画期間延長に伴う、目標値や具体的な取組、事業例の更新

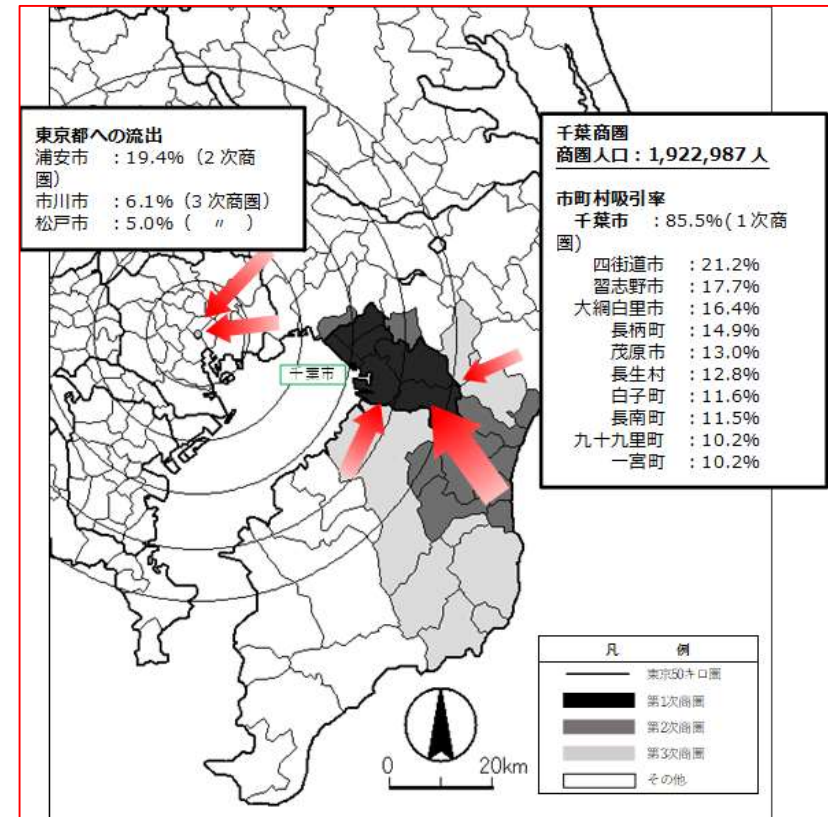
# 人口ビジョンの主な改訂ポイント

- 本市の転入は、県内中心で、主に県東南部からの転入が多い
- 東京都及び都心方面に向けては転出超過であるが、感染症の影響により減少傾向
- 本市は県内最大の商圈として吸引力を有するが、周辺都市の伸長により、やや縮小傾向

## 主な転入超過・転出超過の状況（2020年）



## 千葉県内における商圈（2020年）



# 総合戦略の主な改訂ポイント

## 都市経営Ⅰ 自立した“ちば”共創都市圏を支え、活力の中心となる都市へ

- ・多様な主体が所有する情報を共有し、資源を融通しあうこと等により、地域の枠を超えて連携

## 都市経営Ⅱ 産業と経済、地域社会の活性化を推し進め、魅力あふれる都市へ

- ・コロナ禍における社会経済活動を支えるとともに、ポストコロナの新しい社会を見据え、さらなる成長を目指すため、テクノロジーを活用したスマートシティの推進
- ・行政や民間のDX推進により、多様な働き方や生産性向上を図る

## 都市経営Ⅲ 誰もが活躍できるしなやかで持続可能な成熟都市へ

- ・誰もが活躍でき、多様な主体が連携する、多様性を活かしたインクルーシブな社会を構築
- ・経済、社会、環境の三側面に統合的に取組み、SDGsの目標達成に寄与する持続可能なまちづくりを推進
- ・風水害リスクや感染症リスクに対応可能な、しなやかで持続可能なまちづくりを推進

## 重点戦略5 都市資源を活用し、ひととひととがつながる安全・安心なまちづくり

### 施策（4）気候変動リスクに対応し、災害に強い持続可能な都市の実現 ※新規

- ・様々な主体に対し、気候危機への意識の共有と立ち向かう行動を促すための普及啓発の取組みを記載
- ・再エネ設備の導入など脱炭素の取組みに加え、災害に強い持続可能な都市の実現のための取組みを記載

### 施策（5）感染防止対策と社会・経済活動との両立 ※新規

- ・保健所・市立病院等の体制整備や関係団体等との連携強化により、感染症に強いまちづくりの推進を記載
- ・デジタル技術を活用した非接触・非対面のコミュニケーションの普及・浸透や、DXの推進などを通じた社会・経済活動や行政活動の一層の効率化を進める取組みを記載

## 重点戦略7 未来へと引き継がれる「オリンピック・パラリンピック・レガシー」の発展

- ・東京2020大会に向けて積み重ねてきたソフト・ハード両面の環境整備を、都市のレガシーとして発展させ、未来へと継承する方向性を記載。
- ・その他、オリンピック・パラリンピック後の改訂のため、レガシーの創出に関する表現を全体的に見直し。4